

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス milk.			
○保護者評価実施期間	R8年3月10日		～	R8年4月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	R8年3月10日		～	R8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年4月9日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤職員のみではなく、パート職員もモチベーション高く勤務している。	パート職員も含めたグループラインを作り情報発信や提供等をしやすい様、環境を整えている。	日々スキルアップを目指し学び続け、職員ひとり一人が自信と意識と責任を持ち支援にあたります。
2	活動を通して、様々な経験の機会がある事。	活動内容がマンネリ化しない様、また、いろいろな経験が出来るよう案を練っている。	子どもたちの『やってみたい』という挑戦する気持ちを引き出せる案や、子どもたちや、保護者様からの生の声を聞き逃さないようにしていく。
3	日々の様子や、情報の発信。	日々の活動や、過ごし方を、連絡帳に記入してお伝えする。 毎月のおたよりを渡す。	連絡帳へのより詳しい活動の様子の記載しているが、今後はホームページも作成して、より多くの事業所の内容等を発信する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域の「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」というカテゴリーを意識した上で作業課題以外の課題を意識していく。	作業課題が多く取り組みとなっているため、計画的に個々のニーズに合わせて5領域を意識した課題を検討していく。	5領域を理解し、再度振り返りを行いながら計画などを作成していく。
2	地域との連携が弱い。	他学校や地域とのやり取りが、あまりないことJから何か行えることを考えていきたい。	日頃からの関わりを大切に、関係を深めながら、連携できることを検討していく。
3	契約時に説明した事柄の周知徹底	契約時に説明したことについて、後日改めて周知出来てない事柄がある。 見学の機会は設けているが、現地に来なければ確認できない。	契約時の説明に加え、職員の紹介や事業所の写真等をお便りで配布し、いつでも確認できるようにする。